

平成27年11月6日

平成27年度全国学力・学習状況調査について

京田辺市立普賢寺小学校

1 実施目的・・・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、成果と課題を検証するとともに、学校における児童生徒の学習指導の充実や学習状況の改善に役立てるため

2 実施日及び対象

- (1) 実施日・・・平成27年4月21日(火)
- (2) 対象・・・全国の小中学生
 - 京田辺市・・・小学校675名
 - 中学校590名
 - 本校 9名

3 実施内容

- (1) 国語、算数・数学、理科に関する調査
 - A問題(主として知識に関する問題)
 - B問題(主として活用に関する問題)
- (2) 学習習慣や生活状況等について尋ねる児童生徒質問紙調査

4 教科に関する調査

- (1) 国語・・・
 - ①よくできていた問題
 - A問題の「漢字を読む」「漢字を書く」や「文を構成する主語と述語の関係」「案内文の中から必要な情報を読み取る」問題など
 - 朝学習、いきいきタイムでの反復、継続的な指導や漢字進級テストによる成果であると考えられます。
 - ②課題となる問題
 - A問題の「新聞のコラムを読んで、表現の工夫を考える」やB問題の「目的や意図に応じ、新聞の割り付けをする」問題など
 - 具体的には「新聞のコラムを読んで、筆者の意図や思考を想定しながら文章全体の構成や表現の工夫をとらえること、または引用する問題」
 - **改善に向けて** 目的や意図に応じ、取材した複数の内容を整理して記事を書くなどの指導の充実を図ります。

(2) 算数・・・

①よくできていた問題

A問題の「小数の加法」「日常生活の中で必要となる時刻の計算」など

B問題の「平行四辺形の構成」「単位あたりの大きさを用いて代金を求める問題」など

→ 国語同様、朝学習、いきいきタイムでの反復、継続的な取組の成果であると考えられます。

②課題となる問題

B問題の「図形の性質を根拠にして説明する」や「概数のとらえ方・概算の仕方」の問題など

具体的には「図形の構成要素及び位置関係に着目して考察する」ことや「位に

正しく着目し、四捨五入して千の位までのおよその数にして計算する」問題

→ **改善に向けて**

- ・ 図形の性質をもとに、根拠となる事柄を過不足なく説明する指導を進めます。
- ・ 日常生活の事象の解決に、目的に応じて概数や概算を活用し、結果の解釈と判断の根拠を数学的に表現する指導の充実を図ります。



(3) 理科・・・

①よくできていた問題

「メダカの雌雄の見分け方」や「水蒸気の説明」「観察した星座や雲の動き」など

②課題となる問題

「顕微鏡の適切な操作方法」や「メスシリンダーの名称」「メスシリンダーで定量の水をはかり取る扱い方」など

→ **改善に向けて** 実験・観察を通して、実験器具の名称や資料の見方、活用の仕方（結果から何が分かるのか）等の指導の充実を図ります。

5 児童質問紙の調査から見える普賢寺っ子の様子

(1) 生活習慣について・・・「毎日、朝食を食べる」「毎日同じくらいの時刻に寝起きしている」の割合が高く、基本的な生活習慣が身に付いています。

(2) 学習習慣について・・・「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）

1日当たりどれくらい勉強しますか」では2時間以上学習している児童がいる反面、土日の学習時間については、「している」「していない」のやや二極化が見られます。また、予習、復習の時間が少ないことや、計画的に取り組むという点で課題が見られます。

→ **改善に向けて** 「家庭学習のすすめ」の積極的な活用と継続的な指導を進めます。

(3) 自分自身に関すること・・・「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたいと思う」児童の割合が高く、前向きな意識を持って生活していることがうかがえます。

(4) 地域との関わりについて・・・「今住んでいる地域の行事に参加している」「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」児童の割合が高く、本校最大の強みと思われれます。なのはな委員会「つながり部会」などの取組や社会人講師による授業が大きな要因と考えられます。

6 今後の具体的取組・方向

(1) 授業改善の視点から

- ・話し合い活動や振り返り活動、表現活動の場の大切にされた授業を進めます。
- ・ユニバーサルデザインやICT(電子黒板やコンピュータ等の情報通信技術)を活用した指導の充実を図ります。

(2) 学習意欲の視点から

- ・いきいきタイムやノート指導、夏の学習会を通して基礎学力の定着を図ります。
- ・読書活動の充実や幼稚園、大学との連携事業を通して、学びに対する意欲を高めたり社会性を育んだりします。

(3) 保護者・地域との連携

- ・「家庭学習のすすめ」の確実な定着を目指して、個人懇談会や地域懇談会等で積極的な取組の交流を図ります。
- ・なのはな委員会3部会の取組を通して、地域を誇れる子どもの育成を図ります。

上記3つの視点(授業改善、学習意欲、保護者・地域連携)を大切にしながら、児童の学力アップ、学力向上の取組を進めて参りますので、保護者の皆様をはじめ地域の方々には、なお一層のご理解、ご協力をよろしくお願い致します。